

エコアクション21

環境経営レポート

2023年度

2023年10月から2024年9月



2025年1月25日

共同産業株式会社

目 次

1.	環境経営方針	1	ページ
2.	事業の概要、認証・登録範囲	2	ページ
3.	実施体制	4	ページ
4.	当年度及び中期環境経営目標	5	ページ
5.	主な環境経営計画の内容	6	ページ
6.	環境経営目標の達成状況（目標対実績）	7	ページ
7.	二酸化炭素排出量削減 （再生可能エネルギー利用による二酸化炭素排出量削減効果）	J	ページ
8.	環境経営計画の取組結果とその評価 及び次年度の環境経営目標と環境経営計画	11	ページ
9.	環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等有無	11	ページ
10.	代表者による全体の評価と見直し・指示	12	ページ
11.	エコアクション21活動状況	13	ページ

1. 環境経営方針

基本理念

共同産業株式会社は木質成型炭の製造など炭を通して社会に貢献することを目標としています。

当社は創業以来、地球と人とのやさしい関係を維持しながら木材関連業務を生業としてきましたが、これからも、森林資源の有効活用を図りながらバイオマスで循環型社会の確立にさらなる努力を傾注し環境経営の継続的改善を行います。

行動指針

- 1, 常にお客様には生産性・品質・信頼性・安全性の高い商品を提供します。
- 2, 次の事項を重点に、環境負荷の低減を全社員でさらに推進します。
 - ①二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
使用エネルギー(電気、ガソリン、軽油)の削減に努めます。
 - ②廃棄物排出量の削減に取り組みます。
 - ③歩留まり率 33%への向上に努めます。
 - ④最新の公害防止技術・環境保全技術(騒音・振動・省エネ)の導入に努めます。
- 3, 事業活動に関連する環境関連法規等を遵守します。
- 4, 地域や自治体関連団体などと協力・連携してボランティア活動に取り組むなど、地域環境の美化と意識の向上に努めます。
- 5, この環境経営方針は、社員全員に周知するとともに、広く一般へ公開します。

平成28年6月27日制定
平成30年6月5日改定
共同産業株式会社
代表取締役 山路裕之

2. 事業の概要

- ・事業者名 共同産業株式会社
- ・代表者 代表取締役 山路裕之
- ・所在地 〒757-0012 山口県山口市大字下小鯖850番地の2
(本社機能を有する。)
〒747-0064 山口県防府市大字高井286番地の1
(登記上の本社／事業活動は行っていない。)
- ・環境管理責任者 工場長 野村修士
TEL 083-927-0149
FAX 083-927-5410
E-mail info@kyodo-sangyo.jp
- ・事業内容： 主に製材所が丸太を製材する際に発生する副産物である「オガ粉」を加熱圧縮した棒状の「オガライト」を炭化した「成型木炭(通称:オガ炭)」の製造・販売・輸入。



油吸着材製造業
山林経営、貸倉庫業
太陽光発電事業

・事業の規模

	単位	2021年度	2022年度	2023年度
生産量	トン	911	1,074	1,100
従業員数	人	20	20	20
床面積	m ²	4,470	4,470	4,470

・事業年度： 10月～翌年9月（次回レポート作成予定時期： 2025年12月）

・認証・登録範囲 **全組織・全活動**

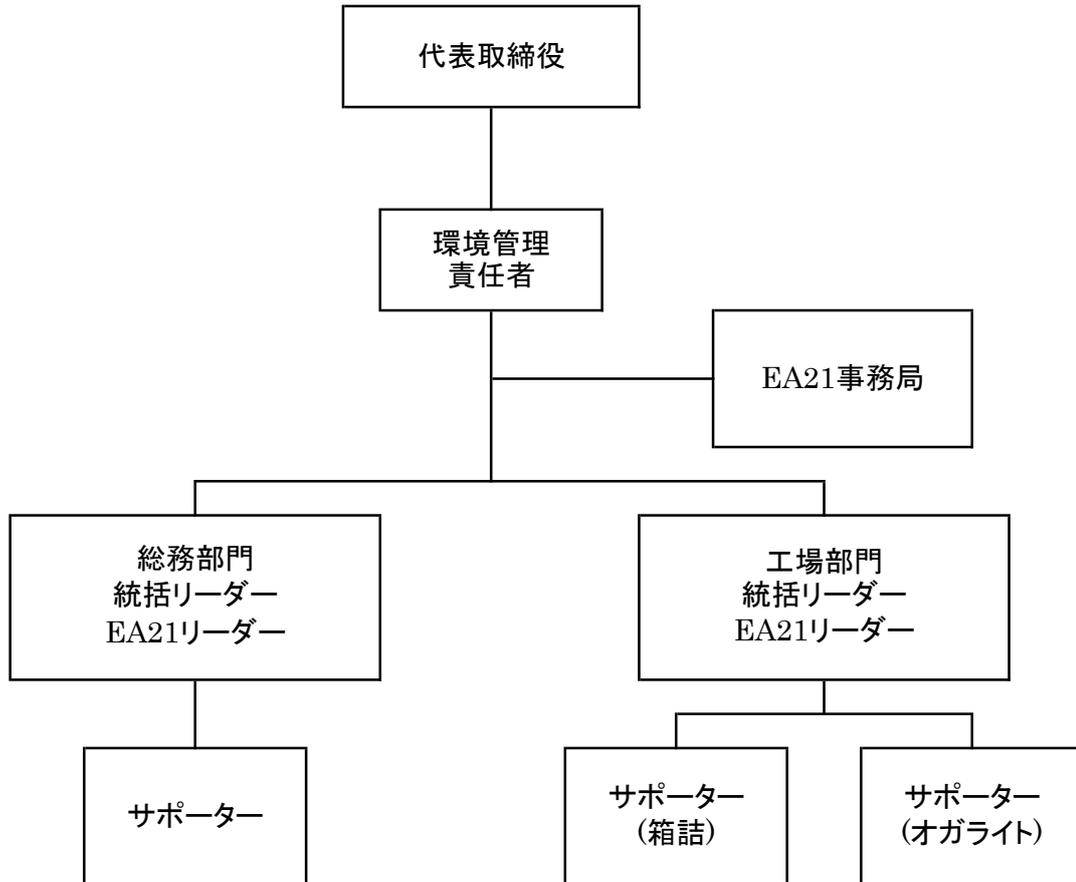
事業活動： 木質成型炭化製造・販売（成型木炭、各種複合炭化物、木酢液、超微粉炭）、油吸着材製造業、山林経営、貸倉庫業、太陽光発電事業

対象事業所： 本社・工場

・アクセス



3. EA21実施体制



役割分担表

所属(役職)	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役)	全体の統括、環境方針の設定、環境への取組を実施するための資源の準備、全体の評価と見直し
環境管理責任者	全体の把握／環境経営システムを構築し、運用。 (その状況を社長に報告する)
EA21事務局	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
統括リーダー	環境管理責任者に必要な情報を提供するとともに、環境管理責任者の指示を部門内に周知し、EA21を着実に実施する。
EA21リーダー	統括リーダーに必要な情報を提供するとともに、統括リーダーの指示を部門内に周知し、EA21を着実に実施する。
各部門サポーター	EA21リーダーをサポートし、EA21を各部門メンバーに周知し着実に実施するように推進する。

4. 2023年10月～2024年9月期 及び 中長期環境経営目標

環境目標		単位	基準年度	環境経営目標				
			2020年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	468,565	468,565 2020年度実績基準	468,565 2020年度実績基準	468,565 2020年度実績基準	468,565 2020年度実績基準	468,565 2020年度実績基準
	1-1 電力使用量の削減	kWh	523,961	523,961 2020年度実績基準	523,961 2020年度実績基準	523,961 2020年度実績基準	523,961 2020年度実績基準	523,961 2020年度実績基準
	1-2 A重油使用量の削減	ℓ	34,940	34,940 2020年度実績基準	34,940 2020年度実績基準	34,940 2020年度実績基準	34,940 2020年度実績基準	34,940 2020年度実績基準
	1-3 灯油使用量の削減	ℓ	14,363	14,363 2020年度実績基準	14,363 2020年度実績基準	14,363 2020年度実績基準	14,363 2020年度実績基準	14,363 2020年度実績基準
	1-4 LPG使用量の削減	kg	12,969	12,969 2020年度実績基準	12,969 2020年度実績基準	12,969 2020年度実績基準	12,969 2020年度実績基準	12,969 2020年度実績基準
	1-5 ガソリン使用量の削減	ℓ	2,902	2,902 2020年度実績基準	2,902 2020年度実績基準	2,902 2020年度実績基準	2,902 2020年度実績基準	2,902 2020年度実績基準
	1-6 軽油使用量の削減	ℓ	7,554	7,554 2020年度実績基準	7,554 2020年度実績基準	7,554 2020年度実績基準	7,554 2020年度実績基準	7,554 2020年度実績基準
2	排ガス基準の遵守	—	すべて適合	大気汚染防止法に基づく基準値以下を達成する。				
3	産業廃棄物排出量の削減	t	11.8	11.8	11.8	11.8	11.8	11.8
4	歩留まりの向上	%	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0
5	水使用量の削減 (大半は井戸水を使用) 2017年9月より 一部水道水利用開始	m ³	229	229	229	229	229	229
6	グリーン購入の推進	品目	3	3	3	3	3	3
7	再生可能エネルギーの生産等による二酸化炭素排出量削減への貢献	kg-CO ₂	1,832,683	1,832,683 2020年度実績基準	1,832,683 2020年度実績基準	1,832,683 2020年度実績基準	1,832,683 2020年度実績基準	1,832,683 2020年度実績基準
8	地域貢献活動 (会社周辺の清掃)	実施回数	1回／四半期	1回／四半期	1回／四半期	1回／四半期	1回／四半期	1回／四半期

※1 基準値：2020～2024年度の目標に対する基準値は2020年度実績値

※2 CO2排出係数は、中国電力㈱の0.521 kg-CO₂/kWh(2020年度調整後排出係数)を採用した。

※3 化学物質は使用実績がないため環境経営目標は設定しない。

5. 主要な環境経営計画の内容

環境経営目標		取組内容	担当	期間
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	1.使用していない機械の電源は絶えず切るようにする。	寺井	全期間
		2.クーラーなど冷房装置は適正な温度で運転する。	寺井	
		3工場の駆動装置は適正な能力に絶えずする。	寺井	
		4.パソコンを長時間使用しない時は、電源をOFF又はスリープにする。	山路	
	A重油、LPG使用量の削減	1.機械の整備をよく行う。	森弘	全期間
		2.必要以上に無駄な使用をしないように努める。	森弘	
		3使用時に空気の調整を必要な時には行う。	森弘	
	灯油使用量の削減	1.適切な暖房を心掛ける。	森弘	全期間
		2.必要以上に無駄な使用をしないように努める。	森弘	
	ガソリン、軽油使用量の削減	1.アイドリングストップ	石村	全期間
		2.タイヤの空気圧の調整	石村	
		3.走行ルートの合理化	石村	
排ガス基準の遵守	1.手順書に基づき熱風乾燥炉の燃焼空気量及び燃焼温度を適切に管理する。	石村	全期間	
	2.毎年2回排ガス測定を実施し、目標値を達成していることを確認する。	石村	4・10月	
歩留まりの向上	1.オガライトの生産安定化を季節ごとに数値を決め遵守する	石村	全期間	
	2.窯の管理においては感覚だけに頼らず数字を共有化する	寺井	全期間	
廃棄物総排出量の削減	1.原材料を有効に利用し、廃棄物の発生を減らす。	藤田	全期間	
	2.テープなど包装品の無駄遣いに気をつける。	藤田		
水使用量の削減	1.節水意識を徹底する。	森弘	全期間	
5S・定位置化・見える化の促進	1.無駄な時間の短縮及び作業の効率化を図る	寺井	全期間	
グリーン購入の推進	1.文具のグリーン化を進める。	坂本	全期間	
再生可能エネルギーの生産等による二酸化炭素排出量削減への貢献	1.再生可能原料である木材原料として、二酸化炭素排出量の吸収に貢献する。	野村	全期間	
	2.太陽光発電及び地中熱利用により購入電力の使用を抑える。	野村		
地域貢献活動(会社周辺の清掃)	1.会社周辺を定期的に清掃する(四半期1回)	野村	全期間	

6. 環境経営目標の達成状況(目標対実績)

項目	単位	2023年度	2023年度		達成状況	
			目標	実績	削減率(%)	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO2	468,565	468,565	429,321	△ 8.4	○
1-1 電力使用量	kWh	523,961	523,961	479,444	△ 8.5	○
1-2 A重油使用量の削減	ℓ	34,940	34,940	28,170	△ 19.4	◎
1-3 灯油使用量の削減	ℓ	14,363	14,363	13,740	△ 4.3	○
1-4 LPG使用量の削減	kg	12,969	12,969	15,540	19.8	×
1-5 ガソリン使用量の削減	ℓ	2,902	2,902	2,543	△ 12.4	◎
1-6 軽油使用量の削減	ℓ	7,554	7,554	6,378	△ 15.6	◎
2 排ガス基準の遵守	—	法定基準を十分に達成した	法定基準を十分に達成する	法定基準を十分に達成した	—	
3 産業廃棄物排出量の削減	t	11.8	11.8	3.9	△ 66.7	◎
4 歩留まりの向上	%	33.0	33.0	33.4	1.2	○
5 水使用量の削減(主に井戸水使用) 2017年9月より一部水道使用開始	m3	229	229	960	319.2	×
6 グリーン購入の推進	品目	3	3	3	±0	○
7 再生可能エネルギーの生産等による 二酸化炭素排出量削減への貢献	kg-CO2	再エネの積極的活用 (1,832,683)	再エネの積極的活用 (1,832,683)	再エネ利活用実績 (2,421,728)	32.1	◎
8 会社周辺の清掃	実施回数	1回/ 四半期	1回/ 四半期	5回/年	—	◎

判定：◎：削減率10%超 ○：削減率10%～0%以上、△：10%以下の増加、×：10%超の増加

⇒ 前期の場合、是正処置対象

備考1 PRTR法対象物質を使用していないので、化学物質削減の目標をかかげていない。

備考2 2017年9月より一部水道を利用開始

備考3 CO2排出係数は、中国電力(株)0.521kg-CO2/kWh(2020年度調整後排出係数)を採用した。

7. 二酸化炭素排出量削減

(再生可能エネルギー利用による二酸化炭素排出量削減効果)

我が社の製品は

再生可能エネルギー

再生可能エネルギー利用による二酸化炭素排出抑制量

木くずの利用 (燃料) /ト

太陽光発電 /

合計

352,329kg-CO₂

+

製品の供給に伴う二酸化炭素削減貢献量

成型木炭

オガライト

合計

2,498,720kg-CO₂

-

化石系エネルギー使用量に伴う二酸化炭素排出量

電気

灯油

A重

LPG

ガソリ

軽油

合計

429,321kg-CO₂

1年間で 二酸化炭素排出量

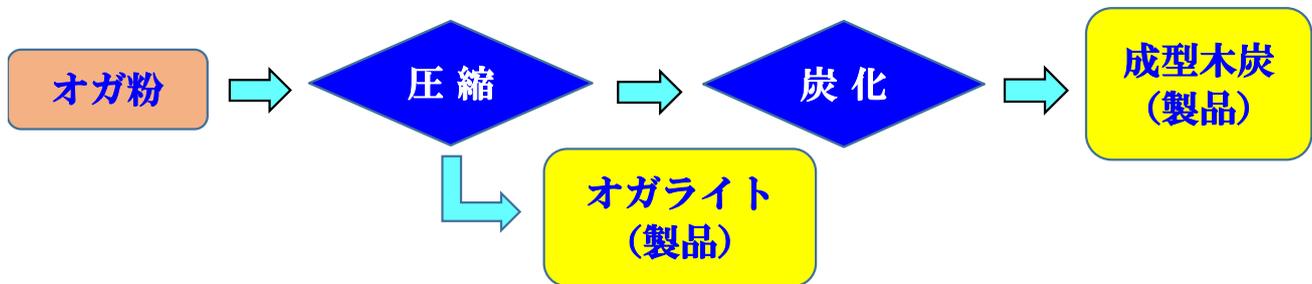
2,421,728kg-CO₂ の削減に貢献！

原料 製材の際に発生する「おが粉」

製品 オガライト、成型木炭（オガライトの炭化製品）

成型木炭成型木炭やオガライトは再生可能エネルギーのうちの「バイオマス燃料」に位置づけられ、燃料として使用したときに発生する二酸化炭素は、森林の成長に伴って吸収されるので、「二酸化炭素排出量＝ゼロ」とカウントされます。

【成型木炭・木炭の製造工程】



【主な用途】

成型木炭: 普通の木炭と同じく幅広い用途の燃料

オガライト: お風呂などの燃料

【参考】再生可能エネルギー利用による二酸化炭素排出量削減効果

エコアクション21運用期間（2023年10月～2024年9月）における

		温室効果ガス削減への貢献実績			
物品等		生産量等	単位発熱量	総発熱量	二酸化炭素 吸収相当量※
		a	MJ/ t	MJ	kg-CO2
			b	c=a×b	d=c*0.0679
製品	①成型木炭	1,100 t	33,000	36,300,000	2,464,770
	②オガライト・製品	25 t	20,000	500,000	33,950
	小計	—	—	36,800,000	2,498,720
再生可能 エネルギー	③木くず（燃料）	288.1 t	14,400	4,149,274	281,736
	④太陽光発電	135,496 kWh	0 kg-CO2/kWh	（二酸化炭素 排出係数）	0
	小計	—	—	0	281,736
合計		—	—	—	2,780,456

※ 灯油を燃焼したときに排出される二酸化炭素排出量に換算した量

灯油の二酸化炭素排出係数 0.0679kg-CO2/MJ

オガライト 4,800 kcal/kg
= 20,083 MJ/t

【全社・二酸化炭素排出エネルギー使用実績】

	使用量		二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	排出係数
電気	479,444	kWh	0	0
灯油	13,740	ℓ	34,212	2.49
A重油	28,170	ℓ	76,341	2.71
LPG	15,540	kg	46,621	3.00
ガソリン	2,543	ℓ	5,900	2.32
軽油	6,378	ℓ	16,456	2.58
合計			179,530	

二酸化炭素排出量削減 貢献量(2023年10～2024年9月)

C - D = 2,600,925 kg-CO2 の削減効果

8. 環境経営計画の取組結果とその評価、
及び、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

項目	評価	次年度の環境経営目標 及び環境経営計画
1 二酸化炭素 排出量の削減	冷却テスト完了。 消費電力量は増えたが、確実な冷却が可能になったことと、重筋作業や残業・早出が大幅に減少した。	消費電力量低減のためにタイマー等の設置予定。
2 排ガス基準の遵守	熱風乾燥炉の更新により、基準も厳しくなったが、燃焼空気量及び燃焼温度を適切に継続して管理した。 基準値以内での運用が出来ている。	引き続き、適切な管理を継続し、かつ排ガス測定を計画的に実施する。
3 廃棄物総 排出量の削減	操業終わりの乾燥窯の運用を変更し、大幅に燃焼可能な燃えがらが低減の継続中	引き続き継続していく
4 歩留まりの向上	数値の厳格化やチームでの共有が進み、今年度は過去最高の歩留まりとなった	バラツキを減らし、更に安定化するように引き続き進めていく。
5 使用水量の削減	冬季対策で蛇口等に断熱を撒いたりして対応した。	水を出しっぱなしにしないといけないところの改善を検討する
6 グリーン購入の推進	引き続き、グリーン購入を進めている	今後もグリーン購入に努める。
7 再生可能エネルギーの生産等による二酸化炭素排出量の削減	自家電力使用の太陽光発電を2023年5月に約40kwを増設し、104,238kwhから135,496kwh大幅に発電量が増え二酸化炭素削減にさらに寄与できた	2024年9月に更に自家使用の太陽光発電を40kwを増設した。
8 会社周辺の清掃	毎四半期1回清掃プラス年末に更に1回追加し年間5回実施した。	今後もプラスαを行えるように努力する。

9. 環境関連法規等の評価結果違反、訴訟等の有無

- 1 環境関連法の遵守状況をチェックした結果、これまでに違反した事実はありません。
- 2 関係当局からの違反の指摘もありません。
- 3 取組期間中、苦情等一切ございませんでした。

【主な環境関連法規】

廃棄物処理法、大気汚染防止法、騒音規制法、振動規制法、フロン排出抑制法、浄化槽法、グリーン購入法、消防法

10. 2023年度の代表者による全体の評価と見直し・指示

会社名	共同産業株式会社		
会議名	2023年度の代表者による全体の評価と見直し		
日時	2024年12月28日（土） 13:00～14:00		
場所	小鯖工場会議室		
主催	代表者、環境管理責任者、統括リーダー、EA21事務局		
提出資料	環境経営レポート(案) その他、作成済みのEA21資料一式		
会議の内容	<p>①2023年度の目標の確認とその成果</p> <p>資料： 環境経営目標の実績、環境経営計画、 環境経営計画の取組結果とその評価</p> <p>⇒おおむね、内容については、レポート・案の通りで了承</p>		
目標・活動の結果及び評価	2022年度に基準を実態に則した目標に変更し、ほぼ目標を達成することが出来た。		
代表者による全体の評価及び指示	<p>1. 人手不足や原料不足で思ったようにフル生産ができない一年だった。 この傾向は今後も続くことが予想され、歩留まりの向上や生産性向上が更に必要となる。</p> <p>2. 昨年度、正社員がやっと充足したが、今年度は社歴の浅い2名が諸事情で退職し、なかなかその2名が充足できていない。その中で、生産結果が向上したのは、エコアクション活動を含めた全従業員のおかげである。</p> <p>3. 人手に少し手も余裕があるときに、多能工化を進めてきたことが、人手不足の中でも対応できた要因の一つでもあった。</p>		
見直し・指示 (変更の必要性)	環境経営方針変更の必要性		無
	環境経営目標変更の必要性		無
	環境経営計画変更の必要性		無
	実施体制変更の必要性		無
	環境経営システム等の変更の必要性		無
	手順書の追加		無

11. エコアクション21活動状況



全体清掃



防火訓練



整理整頓



工場内美化



定位置化



明示化